

編集後記

本号のミニ特集1は「女性研究者の育成」である。我が国の女性研究者、大学の女性の教授は国際的にみても少ないことが指摘されている。特に理工系・技術系では女性の比率が低い、その理由は明らかではない。道具や機械に興味を持つのは男性のほうが多いということは経験的に感じられることであり、このような「もの」や「メカ」に興味を持つのは男性の特徴なのかもしれない。しかし現代ではものづくりの技術のみではなく、むしろ何を作ればよいか、社会の中でどのように技術が生かされていくのかといったセンスが必要とされることが多くなっている。そのためには男性だけに偏ったものづくりの社会ではなく、理工系・技術系においても男女がほぼ同数になり、それぞれの価値観で議論できる分野に転換してゆく必要があると考えられる。男性中心の従来の分野を横断する基幹技術に貢献するのは女性研究者のほうが大きいかもしれないと思う次第である。

ミニ特集2は「2008年度分野横断型科学技術アカデミック・ロードマップ」である。横幹連合のめざす分野横断型の研究の将来像が、知の統合、社会システム、人間・生活支援技術の3つの視点から描かれている。技術は日進月歩であり、その将来像を時系列的に正確に予測することは難しいが、その目指すところを間違えないようにしたいものである。そのためには、過去を振り返ってみることも大切である。過去または現在進行中の分野横断的な研究のよい事例を探してみるのはどうだろうか？

今号から編集委員長を仰せつかった。次号からは新たな編集体制の下、多くの会員学会の構成メンバーの皆様にご覧いただける会誌をめざしていきたいと考えている。

会誌編集委員会委員長 青木和夫（日本大学）

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

2009年度役員

会 長	木村英紀（(独)理化学研究所）	
副 会 長	館 暲（慶應義塾大学）	原山優子（東北大学）
理 事	青木克己（東海大学）	青木和夫（日本大学）
	大熊和彦（東京工業大学）	太田敏澄（電気通信大学）
	帯川利之（東京大学）	榎木哲夫（京都大学）
	杉江俊治（京都大学）	高橋 進（東海大学）
	田村義保（統計数理研究所）	椿 広計（統計数理研究所）
	出口光一郎（東北大学）	西村千秋（東邦大学）
	布川博士（岩手県立大学）	平井成興（千葉工業大学）
	船橋誠壽（(株)日立製作所）	梅干野晁（東京工業大学）
	松井正之（電気通信大学）	山崎 憲（日本大学）
	山中敏正（筑波大学）	山本正宣（(株)シグナルコンサルタント）
監 事	鈴木久敏（筑波大学）	藤井眞理子（東京大学）

2009年度 会誌編集委員会

委 員 長	青木和夫（日本大学）	
副委員長	大倉典子（芝浦工業大学）	
委 員	加藤象二郎（愛知みずほ大学）	金子勝一（山梨学院大学）
	榎木哲夫（京都大学）	庄司裕子（中央大学）
	杉江俊治（京都大学）	杉野 隆（国土舘大学）
	椿 広計（統計数理研究所）	長嶋雲兵（産業技術総合研究所）
	奈良高明（電気通信大学）	三宅美博（東京工業大学）
	山田雄二（筑波大学）	山本正宣（(株)シグナルコンサルタント）